

「ブロック宣教司牧計画」による『共同宣教司牧』推進の継続

2008年5月10日

京都司教 パウロ大塚喜直

1. 経 緯

- ・京都教区では各共同宣教司牧ブロックで 2003 年から「ブロック宣教司牧計画」を作成して、『共同宣教司牧』の精神で、ブロックの宣教司牧活動をしてきました。
- ・また、ブロックの活動のために、「ブロック会計」も設置しました。次年度のブロック予算はブロック宣教司牧計画にもとづいて立てられます。ここ数年、ブロックごとに小教区からの分担金、ブロック活動への支出、ブロック司祭団の活動費等、ブロック会計の内容が充実してきました。
- ・ブロック宣教司牧計画には、「長期目標」と「短期目標」があり、「長期目標」を 5 年の目安にしていたので、2003年度から2007年度の最初の 5 年が経過し、ブロック宣教司牧計画の「長期目標」も見直しの時期です。

2. 「ブロック宣教司牧計画」の作成趣旨

「ブロック宣教司牧計画」とは、『共同宣教司牧』を行なうブロックの教会が、自己の共同体の歩みを振り返り、教会活動の現状を認識した上で、地域社会の福音宣教のニーズを見極め、それに応えるために、ブロックの宣教司牧活動を長期的な展望の下に計画的に行うために作成するものです。

3. 「長期目標」と「短期目標」

ブロック宣教司牧計画のためには、「長期目標」と「短期目標」に分けて考えます。

「長期目標」とは、福音宣教する共同体になるという共同宣教司牧の目標を前提に、各地区、ブロック固有の状況の中で、選択したいいくつかの優先課題(3～5くらい)で、期間も5年くらいの目安で設定するものです。

「短期目標」とは、「長期目標」のそれぞれの優先課題を1年の活動で実施する具体的な行動、運動、企画、行事等に還元されるようなものです。

これらがブロックの単年度の「ブロック宣教司牧計画」となります。

4. 次年度のブロック宣教司牧計画の策定とブロック予算

教会の会計はいわゆる「予算主義」で行います。したがって、まず、ブロック会議で昨年のブロック宣教司牧計画を反省して、次年度のブロック宣教司牧計画を策定します。そして、それに基づいて次年度の「ブロック予算」を立て、2 月末までに教区に報告します。なお、ブロック会計の決算は、毎年の小教区会計の決算報告と共に教区に提出します。

5. 教区ホームページでの公開

過去の「ブロック宣教司牧計画」と「評価」、そして、「ブロック共同宣教司牧の歩み」は教区のホームページに掲載されています。他のブロック宣教司牧計画を参考にしながら、より充実したブロック宣教司牧計画を立てて、『共同宣教司牧』を推進していきましょう。

以上。